

# 『時事直言』 No.1228 2018年1月31日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>  
時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>  
FAX：03-3956-1313



時事評論家 増田俊男

## 株価急落

私は有料情報誌「ここ一番！」の1月26日、30日号と「増田俊男の目からウロコのインターネット・セミナー」で「もしニッケイ平均が23,500円割れになると下げがきつくなり24,000円の回復に時間がかかることになる」と述べた。

やはり1月30日ニッケイ平均が23,500円を割ると一気に23,291円まで下げて終わった。

私は「2020年までにニッケイ平均4万円」を唱えていて、本格的な上げトレンドは本年4月18日（私の誕生日）からだと言いつけている。

ニッケイ4万円の根拠は2月2日頃から発送予定の「小冊子」Vol.95第5章「日米財政破綻下でNYダウ4万ドル、ニッケイ4万円になる理由」で詳しく説明している。

「NYダウ4万ドル、ニッケイ平均4万円を目指す前に必ず調整がある」と、同じく「ここ一番！」と「増田俊男の目からウロコのインターネット・セミナー」で何度も述べてきた。

今回の下げはその調整である。

正に「一歩下がって二歩前進」の「一歩」である。

下げの背景にはFRBの引締め（10年物米国債利回り2.72%に急騰）、ECBの緩和出口、日銀の緩和量縮小（80兆円から60兆円）に加えて中国シャドーバンクのデフォルト（返済不能）続出不安がある。

ところが誰も言わない「とんでもない上げ要因」がある！

しかも「世界ブームになる上げ要因」である。

私はそれを「第二次資産バブル」と呼ぶ。

アメリカの指針が180度転換するように（第1章で解説）、相場トレンドも180度変わる。

「円安・株高から円高・株高」のように。（理由は第5章で解説している）

円高で買える銘柄、金利高で有利になる業種、財政出動（インフラ投資）で潤う産業等々、今何を買ったらいいのか、それをタイムリーにアドバイスするのが「ここ一番！」と「増田俊男の目からウロコのインターネット・セミナー」。

国際政治と市場が大転換をする時、私からの情報に注目していただきたい。

### 増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」をFAX又はe-mailにて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスダU.S.リサーチジャパン(株)Tel：03 3956-8888、HP：[www.chokugen.com](http://www.chokugen.com)まで。

#### 【最近の配信履歴】

- 1月30日（火） No. 783 23,500円割れ
- 1月30日（火） No. 782 何時から円高・株高になるか
- 1月26日（金） No. 781 ドル高・円安・ニッケイ高
- 1月25日（木） No. 780 円高ピーク、株価底打ち

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダU.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。